

## 当院における ERCP 時の呼吸器合併症の現状とモニタリングに関する研究

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

### 研究の目的と方法

内視鏡的逆行性胆管膵管造影(以下、ERCP)は内視鏡を口から入れて食道・胃を通り十二指腸まで進め、胆管や膵管に直接細いチューブを介して造影剤を注入して、胆嚢や胆管及び膵管の異常を詳しく調べる検査です。安定した検査を実施するために鎮静薬を使用しますが、まれに呼吸抑制などの呼吸器合併症が起きることがあります。そのため、生体情報のモニタリングは重要です。鎮静薬使用時のモニタリングに関する報告例は少ないため、当院の診療実績における鎮静下 ERCP の安全性の実態を調査し、適切なモニタリングを検討します。

診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

### 研究の対象となる方

2023年4月～2024年3月に当院でERCPを受けられた方

### 使用する試料・情報

年齢、性別、身長、体重、既往歴、EPCR 関連治療情報 等  
[使用開始予定日] 2024年11月13日

### 研究予定期間

2024年11月13日～2025年5月31日

### 個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

[研究の情報管理責任者] 臨床工学部門 中島 優果  
[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

### 研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

#### 問い合わせ先

済生会熊本病院 臨床工学部門 中島 優果

住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)